

# 市政に関する一般質問通告一覧

令和3年第9回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日 時		質 問 議 員
12月7日(火)	午前10時30分～	1. 中川健一(維新・半田市民の会)
	午後1時15分～	2. 鈴木健一(無所属)
		3. 岩田玲子(創造みらい半田)
		4. 坂井美穂(公明党)
12月8日(水)	午前9時30分～	5. 竹内功治(創造みらい半田)
		6. 加藤美幸(維新・半田市民の会)
	午後1時15分～	7. 水野尚美(チャレンジはんだ)
		8. 伊藤正興(チャレンジはんだ)
		9. 山田清一(公明党)
12月9日(木)	午前9時30分～	10. 國弘秀之(チャレンジはんだ)

## 12月7日(火) 午前10時30分～

### 1. 15番議員 中川健一(維新・半田市民の会) 【一問一答】

1 市長選挙公約である久世たかひろ施策と選挙公報に記載の地域振興券一人二万円公約の進捗状況について、実施済みの場合は、いつ実施をしたか、予算はいくら費やしたか、成果は何か、検討中の場合は所管部署、検討をしている内容の概略、市長当選後6か月たっても実施できない理由、実施目標時期、実施をとりやめた場合はその理由を説明ください

(1) 令和3年6月6日の投票日から約6か月が過ぎた現状の選挙公約進捗状況の評価について

① 38個(37+1)の公約のうち、11月23日時点で、実施済み、検討中、実施を取りやめたものはそれぞれいくつですか

② 久世市長当選後、約6か月が過ぎています。選挙公約全体の進捗状況をどのように評価していますか。事務事業評価と同様にAからEで評価し、理由を説明ください

(2) 選挙公約である久世たかひろ施策における久世たかひろ3つのビジョンについての進捗状況はどうなっているか

① 教育先端都市、ICT(情報通信技術)活用教育を皮切りに、スマートシティへ!

② 半田病院の民営化を検討

③ 地元の豊かな食材(野菜・果物、肉、魚介)を重要資源にし、世界に展開できる特産品の開発・販売支援、食品化学の研究機関・大学を誘致

(3) 選挙公約である久世たかひろ施策における4つの半田イズムと22の政策についての進捗状況はどうなっているか

① 「未来を担う人づくり」の理念のもと、子育て環境 知多半島No.1の街を目指します

② 独自のカリキュラム導入を可能とし、幼稚園・保育園の質の向上を図ります。また早朝・延長などの

- 預かり方や、駐車場などの送迎環境の見直しで、保護者へのサポート強化も図ります
- ③夏休みなどの長期休暇や祝日、また子どもを取り巻く諸問題に対応できる、子どもの居場所（サークルプレイス）づくりを推進します
  - ④ファミリーサポート制度をバージョンアップさせ、お試し無料券を配布。子育ての「ちょっと助けてほしい！」を積極支援します
  - ⑤クラス担任以外の専門チームやICTの活用で、不登校・ひきこもりの個々の状況に向き合います
  - ⑥小学校の教科担任制を進め、教員の負担を軽減します
  - ⑦シニアの生きがいづくりへの投資を増強し、健康寿命100歳を目指します
  - ⑧新半田病院への半田市北部からの救急車アクセス道路を、開院までに整備します
  - ⑨超高齢化社会に向け、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所などの福祉施設を計画的に整備します
  - ⑩新たな手段や地域特性を視野に入れた、高齢者の移動手手段の確保を急ぎます
  - ⑪認知症の予防～早期発見～社会での共存生活までのトータルケア体制の整備を急ぎます
  - ⑫市長トップセールスで企業誘致に挑み、市内の雇用を3,000人増やします
  - ⑬官×民から成る常設の産業振興会議でつくる、市独自の経済活性化策を実行します
  - ⑭就職氷河期世代の非正規雇用者の正社員登用、リモートワークの導入、男性の育児休暇取得、ひとり親への働き方配慮などを促進。労働にまつわる社会問題の解決に寄与する事業所に一定の条件で助成をします
  - ⑮新規起業や業種転換を応援するビジネスチャレンジ制度をつくります
  - ⑯1次産業専業従事者の所得向上を目指し、耕作放棄地の再生、AI導入、地産地消市場拡大などを支援します
  - ⑰安心安全な地産食材、郷土食を学校給食に積極採用し、食育と地元生産者応援をかなえます。予算超過分は補助します
  - ⑱「山車・蔵・南吉・赤レンガ」半田が誇る文化を継承保全します。学芸員を配置した山車文化の発信拠点をづくります
  - ⑲男女平等の観点で、まずは、市役所での女性管理職の登用を加速させます。LGBTQ、障がいを持つ人、外国人などの、多様性があたりまえの共生社会を目指します
  - ⑳海底トンネルの無料化・低料金化に挑戦。三河地域との往来をスムーズにし、衣浦大橋の渋滞緩和や通勤の利便性を高めます
  - ㉑市民活動助成金の制度に、市の課題に応じた助成率を設定、申請・相談窓口を拡充し、市民の活動をさらに応援します
  - ㉒障がいを持つ人の親なき後を見据え、生活を地域で支える体制をつくります
- (4) 選挙公約である久世たかひろ施策におけるコロナ緊急対策についての進捗状況はどうなっているか
- ①地域ごとにコロナ緊急サポートセンターを設置します
  - ②相談窓口・ワクチン接種申し込みサポートなど
  - ③半田市がコロナ禍で職を失った方を臨時雇用します
  - ④影響が甚大な業種・事業者を、国とは違う角度から支援します
  - ⑤自宅にこもりがちな高齢者の健康ケアを促進します
  - ⑥コロナとの共存を前提に、市民・経済活動への支援をします
- (5) 選挙公約である久世たかひろ施策における防災・危機管理についての進捗状況はどうなっているか
- ①災害時の資機材の拠点となる半田消防署の建て替えを検討します

- ②被災地へのボランティア参加を推進、現場での学びを半田市の防災に生かします。費用補助、フィードバックの仕組みなど、関係制度の整備を急ぎます
- ③自主防災活動を支援し、共助の体制づくりを急ぎます
- (6) 選挙公約である久世たかひろ施策におけるごみ減量問題と協力還元策についての進捗状況はどうなっているか
  - ①ごみ減量を強く掲げ推進します。埋め立て地の問題、持続可能な社会をめざすために急務な行政課題です
  - ②指定ごみ袋の無料配布（世帯への基礎配布方式を検討）をします。市民のごみ減量協力への還元とし、一定の条件を設けます
- (7) 選挙公報における地域振興券一人二万円公約
  - ①質問事項に漏れがあると全体の評価が分かりにくくなりますので、念のために進捗状況をお尋ねする次第です

## 12月7日（火）午後1時15分～

### 2. 16番議員 鈴木健一（無所属）【一問一答】

#### 1 聴覚にハンデがある方への支援の在り方を問う

##### (1) 聴覚障がい者の現状について

- ①聴覚障がいにより身体障がい者手帳を持っている人数や、その施策の内容を説明してください
- ②半田市内に補聴器のことについて相談できる医療機関は何件ありますか

##### (2) 身体障がい者手帳の対象にならない難聴児への支援について

- ①軽度・中等度の難聴児に対する支援施策はありますか

##### (3) 難聴の高齢者への支援について

- ①高齢者の検診に聴覚検査を組み入れ、難聴者の実態をつかむ必要についての見解はどうですか
- ②認知症予防活動を充実させる為に、補聴器購入助成制度の創設が必要だと考えますが、どうですか

#### 2 インフルエンザの予防接種の補助について

##### (1) 64歳以下の市民への補助について

- ①64歳以下の市民にインフルエンザ予防接種への補助をするべきと考えますがどうですか

### 3. 18番議員 岩田玲子（創造みらい半田）【一問一答】

#### 1 ふるさと納税の現状と今後を問う

##### (1) 半田市のふるさと納税の近年の収支が約2億円の赤字となることについて

- ①2008年地方税法の改正により、ふるさと納税制度が始まりました。13年を経過した半田市のふるさと納税をどのように捉えていますか
- ②年間約2億円が市外に流出しています。この数字をどのように考えますか
- ③今後、ふるさと納税制度の収支に対する半田市版の考え方や基準、具体的な目標を設ける考えはありますか
- ④ふるさと納税の収支の現状と市の税収減に伴う市民への影響を市報やホームページなどに掲載し、

市民に現状を知っていただくことが大切であると考えますが、半田市の見解を伺います

4. 12番議員 坂井美穂（公明党）【一問一答】

1 子宮頸がんから命を守るための情報提供について

(1) 子宮頸がんワクチンの定期接種の現状について

①令和2年度に個別通知を郵送した高校1年生に相当する年齢の対象者は543人ですが、接種人数と接種率を伺います。また、通知未実施であった令和元年度の高校1年生に相当する年齢の対象者の人数と、接種人数と接種率を伺います

(2) 子宮頸がんワクチンの積極的勧奨再開後の情報提供について

①積極的勧奨が再開された旨の情報提供について、どのような周知を予定していますか。周知対象と周知方法について、伺います

②積極的勧奨の再開後には、定期接種の対象者全員に案内を個別に郵送すべきと考えますが、見解を伺います

(3) 子宮頸がんワクチンの国のキャッチアップ制度の導入後の情報提供について

①今後、定期接種対象年齢以外への救済制度が導入された場合の情報提供について、周知対象と周知方法について、伺います

2 子どもの目の健康と未来を守る取り組みについて

(1) 子どもの弱視の早期発見、早期治療について

①全国的に3歳児健診の受診率が高いにもかかわらず、日常生活では気付かれぬことが多い、屈折異常や斜視による弱視の発見が現状の検査方法だけでは、十分ではないと考えていますがどのように捉えていますか

②幼稚園・保育園、就学前での視力検査後に眼鏡をかけて矯正し始める園児はいますか

③精密検査を実施する受け皿となる受託眼科医療機関のリストはありますか

④令和元年12月の一般質問で、3歳児健診の視力検査において、強い遠視や乱視などの屈折異常を簡単に発見できる、「屈折検査」の機器の導入を提案しましたが、検討されましたか

⑤目の機能が急速に発達する3歳の時点で治療を開始すれば、就学前に治すことができます。3歳児健診の視力検査において、「屈折検査」の機器を導入し、現状の検査と併用すべきであると考えますが、見解を伺います

3 大規模災害時に迅速かつ確実に避難所を開設するための初動期のオペレーションの実現について

(1) 大規模災害時における、ファーストミッションボックス（FMB）による迅速かつ確実な初動対応について

①本部要員が参集するまでの貴重な初動時間を、誰であってもその場にいる人が迅速かつ確実な初動期のオペレーションを実現するための方法であるファーストミッションボックスについて、どのように捉えていますか

②迅速に避難所を開設するために、各避難所の建物構造の特性に応じて安全確認を行う場所を、構造設計者や建築施工業者等の構造に詳しい者とあらかじめ確認した上で、被災状況チェックシートを作成し、ファーストミッションボックスに入れておくべきと考えますが、見解を伺います

③危機管理教育研究所が主催する、ファーストミッションボックスの導入と検証ワークショップを受講するモデル自治区を設定し、指示書の作成と訓練での検証を行ってはどうですか。また、モデル自治区の取り組みを参考に、他の自治区においても指示書の作成と訓練を実施できるよう、水平展開するのがよいと考えますが、見解を伺います

## 12月8日(水) 午前9時30分～

### 5. 19番議員 竹内 功治 (創造みらい半田) 【一問一答】

#### 1 半田市の市民サービスにおいて、スマートフォンなどのアプリを活用した取組み

##### (1) 半田市が活用しているアプリの登録者数や利用状況について

①現在、半田市が活用しているアプリは、道路の陥没や施設の破損などを市民が、フィックスマイストリートジャパンのアプリから市に伝える「マイルポはんだ」の取組みをはじめ、資源・家庭ごみの分別方法の検索や、ごみの収集日などをお知らせする資源・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」、はんだ市報を読むことができる「マチイロ」、ラインアプリを利用する半田市公式アカウントなどがあります。こうした半田市が活用しているアプリについて、登録者数や利用状況はどのようになっていますか

②これらのアプリを市民に周知することや、登録者数や利用を増やすための取組みについて、どのように行っていますか

##### (2) 子育て支援のためのアプリについて

①母子健康手帳はお子さんの情報を紙に記載していますが、母子手帳アプリを活用すれば、スマートフォンなどに写真付きで成長記録の作成、予防接種日の表示や予約、子育て施設の案内、市からのお知らせなどができます。知多半島内で常滑市や阿久比町、大府市、美浜町など、全国では500近い自治体が活用しています。半田市も母子手帳アプリを導入してはどうですか

②東京都新宿区や世田谷区、川崎市などでは、子どもの成長記録や予防接種、子育て施設や子育てイベントの検索などを、母子手帳アプリではない子育て支援アプリで、妊娠から出産、子育てに至るまでサポートしています。半田市では「はんだっこネット」のサイトはありますが、もっと手軽で利用しやすい子育て支援アプリの導入を考えてはどうですか

##### (3) 学校生活におけるアプリについて

①半田市で小中学校と保護者との連絡は、児童生徒の連絡帳やプリントの配布、メールで配信する学校メルマガなどになります。しかし全国では、学校生活アプリの導入が進んでいます。このアプリは、学校だよりなどの印刷物をデータで送付、出欠連絡や相談事業、アンケートなどができるようになります。半田市も学校生活アプリを導入してはどうですか

②全国の自治体では中学生を中心に、匿名報告アプリ「STOP i t (ストップイット)」の導入が急速に進んでいます。このアプリはいじめられている、また友人がいじめられている現場を目撃した場合、匿名で教育委員会や学校に報告や相談できるものです。文章だけでなく写真や動画の送信、チャット機能もあるため、いじめの減少に繋がると期待ができます。半田市も匿名報告アプリ「STOP i t」を導入すべきではないですか

##### (4) 市民生活などに繋がるアプリについて

①半田市の「マイルポはんだ」は、災害時に市内の情報を市民から提供してもらうことはできますが、防災のためのアプリではありません。また多言語防災情報配信アプリは利用できますが、日本国内における防災情報アプリのため、半田市の情報は少ないです。例えば東京都目黒区の防災アプリは、避難所や医療救護所、給水地点の場所やAED設置施設、目的地までの案内機能もあるなど、実際の災害時に利用できる防災マップになっています。半田市も独自の防災アプリを導入してはどうですか

②宇治市や淡路島では、ゲームをしながら観光名所や名産品を紹介するアプリ、蒲郡市の観光名所をデート風に紹介するアプリ、また訪日外国人に対応して翻訳するアプリなど、全国で観光用のアプリが普及しています。半田市の魅力を少しでも知ってもらうために、観光アプリの導入を考えて

はどうか

- ③半田市ではラインアプリの公式アカウントで、ホームページの案内やはんだっコネット、マイレポはんだ、市報などとリンクし、最新情報などを案内しています。しかし全国では、今まで紹介した子育てや防災、観光アプリなどの内容をまとめ、他に公共施設やデマンド型バスの予約、また市の独自の取組みなどを含みながら、その自治体としてのアプリが活用されています。半田市も自治体アプリを導入してはどうか

6. 14番議員 加藤美幸（維新・半田市民の会） 【一問一答】

1 市長公約で示された、防災・危機管理に関する、それぞれの事業の内容や計画について

(1) 被災地へのボランティア参加の推進について

- ①平成30年9月議会の一般質問において被災地でのボランティア活動は、「個人の自主性を重んじていることから、行政としてボランティアバスの催行や現地での活動に対する助成、補助などに公費を投入する考えはありません。」との回答がされていましたが、半田市の方針は、どのように変わりましたか
- ②被災地支援を第一としつつ、現場での学びを半田市の防災に生かすことが大切と考えます。令和4年度から計画されている被災地ボランティア応援事業の目的、参加推進の方法や対象、費用補助、フィードバックの仕組みなど、どのように考えていますか
- ③団体や個人での被災地へのボランティアにも補助を行うべきと考えますがどうですか

(2) 自主防災活動の支援と共助の体制づくりについて

- ①独居や高齢者のみの世帯の増加や、コロナ禍による地域とのかかわりの希薄化などの問題をふまえ、自主防災活動をどう支援していく考えか伺います

(3) 半田消防署の建て替えについて

- ①災害時の資機材の拠点となる半田消防署の建て替えについて場所や年度など具体的な計画は、どのように進められていますか

12月8日（水）午後1時15分～

7. 3番議員 水野尚美（チャレンジはんだ） 【一問一答】

1 みんなが楽しめるスケートパークを

(1) 施設的环境整備について

- ①怪我や事故防止のため、施設の不具合や老朽化等の状況把握は必須と考えますが、点検などはどのように行っていますか
- ②施設を安心、安全、快適に利用してもらうため、利用者の声をどのように聞いていますか
- ③スポーツを通して心身ともに健康な市民が増加するために、施設の整備、充実は必要だと思いますが、いかがお考えですか
- ④多目的利用が可能な新総合体育館建設に向けどのような検討をしていますか。また、敷地内スケートパーク設置の可能性について見解を伺います
- ⑤半田運動公園以外のスポーツ施設、又は公園に、スケートボードなどを安心安全に楽しめる場所はありますか

(2) 活動の推進と新たな取り組みについて

- ①幼児期からスポーツに親しむことはとても大切だと思いますが、世代別のスポーツ実施率は把握されていますか
- ②スポーツに触れる割合が、健常児・者より低いと言われている障がい児・者スポーツの推進について、考えを伺います
- ③コロナ禍、東京オリンピック後にスケートボード愛好者が増加していることに対してどのように考えていますか
- ④青少年の運動不足の解消、戸外遊びの推進、また、国籍や年齢、障がいの有無を問わない交流スポーツとして、スケートボードの活用を提案しますが、見解はいかがですか

8. 4番議員 伊藤正興（チャレンジはんだ）【一問一答】

1 男性の育児参加の推進について問う

(1) 半田市の取り組みについて

- ①現状、半田市はどのような取り組みをしていますか。具体的に教えてください
- ②今後、男性の育児参加を推進するために、新たな講座やイベントの開催が必要と考えますが見解を伺います

(2) 市役所の取り組みについて

- ①これまでの育児休暇の取得状況をみて、どのように判断していますか
- ②今後、育児休暇の取得率を向上させるために、どんな取り組みをしますか
- ③今回、市長にイクボス宣言をしてもらいたいと思いますが、いかがですか

2 母子健康手帳について問う

(1) 令和の時代の新手帳について

- ①母子健康手帳の選定にあたり、選考基準は何ですか
- ②コスト削減と地域経済の活性化を目的に、企業広告の採用を検討したことはありますか
- ③母子健康手帳のイラストには、南吉童話がふさわしいと思いますが見解を伺います
- ④母子健康手帳の名称を親子手帳又は親子健康手帳に変更することを提案します。令和の時代に生まれた子ども達のために、新たな手帳を作りませんか

9. 11番議員 山田清一（公明党）【一問一答】

1 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

(1) 半田市の現状について

- ①半田市のデジタル化に向けた取組は、どのような状況ですか

(2) 利用者の視点に立った行政サービスについて

- ①マイナンバーカードの更なる普及について、どのように推進していきますか
- ②行政手続きのオンライン化の実現は、どのように推進していきますか
- ③キャッシュレス決済の拡大、市民向けのアプリケーションなど、デジタルサービスの導入・活用について、どのように考えていますか
- ④オープンデータは、今後どのように推進していきますか

(3) 行政事務のデジタル改革について

- ①情報システムの標準化・共通化により、業務プロセスの見直し等が必要だと思いますが、業務全体の最適化をどのように進めていきますか
- ②A I・R P A等は、今度どのように利活用していきますか

(4) 誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化の取組みについて

- ①情報セキュリティ対策の推進と情報化人材の育成について、どのように考えていますか
- ②デジタル格差の解消にどのように取り組んでいきますか
- ③DXの推進にあたり、現在の課題とその改善策についてどのように考えていますか

## 12月9日(木) 午前9時30分～

10. 5番議員 國弘秀之(チャレンジはんだ) 【一問一答】

1 犯罪のない街づくりに向けて

(1) 女性や子供を守る取組みについて

- ①半田市における近年の女性や子供に対する不審者情報の件数はどのようになっていますか
- ②不審者情報の提供があった場合、市として情報発信はどのようになっていますか
- ③防犯灯の設置状況はどのようになっていますか
- ④児童生徒に対する防犯教育はどのように行われていますか

(2) 防犯カメラの設置促進について

- ①半田市での近年の刑法犯件数の推移はどのようになっていますか
- ②自治区のカメラの設置台数とこれから設置を予定している施設や台数を教えてください
- ③防犯カメラの設置に関しては補助金制度があるものの、電気代などの維持費は設置者である自治区の負担となっており、台数増加に伴う経費の負担を懸念し、カメラの設置が進まない事も予想されます。むしろ、市が率先して防犯カメラを設置するべきと考えますが見解を伺います